



沼中だより

12月号

2024年12月9日発行

逗子市立沼間中学校

校長 熊谷啓明

学校教育目標：「個」・「心」・「力」

今年も残すところ一ヶ月を切りました。今年は例年以上に暑い日が続いたせいか、ゆっくり秋を感じることができませんでしたが、沼間中学校のこの一ヶ月、生徒たちは濃い一ヶ月を過ごすことができたように思います。
〈3年生〉

一ヶ月以上経ってしまいましたが、前回お知らせしたように、11月1日（金）の3年生の授業で、政治家の方々を8人講師としてお招きし、「政治的教養を育む授業・政治家にインタビューしよう」を行いました。沼間中学校では、令和4年度より、3年社会科・公民的分野「現代の民主政治と社会」の単元で、政治的教養を育む授業実践として、毎回約10名の政治家を講師として招き、生徒たちが直接政治家の方々の話を聴きインタビューをする取り組みを継続して行っています。今年度は、神奈川県公立中学校教育研究会・社会科研究大会・逗子葉山大会（県中社研逗葉大会）の研究授業として沼間中学校で行い、県内の社会科の教員約100名が参観しました。3年生はそれまでの授業での準備を活かし、積極的に講師の政治家の方々にインタビューをしたり、インタビュー後には堂々と感想を述べたりすることができ、とてもたくましく感じました。これをきっかけにして、政治に関心を持ち、約3年後有権者となったときに、36期生全員が選挙に行くなど、積極的に政治に参加して欲しいと願っています。



三年生は進路決定に向けて、いよいよ大詰めを迎えようとしています。悔いを残さぬよう、油断せず、諦めず最後まで勉強に励んで欲しいと思います。

〈1、2年生〉

また、11月22日（金）は、一年生は「横浜めぐり」、二年生は「横須賀海上自衛隊見学」の校外学習に出かけました。「横浜めぐり」ではみなとみらいや中華街を中心に精力的に班別行動を行いました。準備段階から全く課題が無かったわけではなく、当日も多少（？）観光気分で活動した生徒がいたとは思いますが、しかし、事前学習も含めて、この「横浜めぐり」をきっかけにして、開港から明治維新、そして、その後の現在に至るまでの日本の産業の発展など、日本の歴史や地理に興味を持ってくれたらいいなと思っています。



二年生の「横須賀海上自衛隊見学」では、キャリア教育の一環として、潜水艦「せとしお」を見学しました。自衛隊では、大人数（教員・保護者含めて約90人）を受け入れたことがないということで、事前に教員と隊員の方とでかなり綿密に計画を立てました。横須賀のイベントなどでは、3、4時間待って甲板を歩いて終わりだそうですが、待つことなく中まで案内してもらい、操縦室や食堂まで普段は入れない潜水艦の内側まで見学することができました。隊員の方々はあの狭い空間で1ヶ月以上任務に当たることもあると伺い、感謝の念に堪えません。



<部活動>

さらに、部活動では、11月9日（土）、10日（日）に横須賀市文化会館にて神奈川県アンサンブルコンテスト予選が開かれ沼間中学校の吹奏楽部が、打楽器三重奏、金管六重奏、木管七重奏で参加しました。日頃の練習の成果が発揮され素晴らしい演奏となりました。

また、探究部の活動では、校舎の裏の柚の木に生った実でジャム作りをしました。お裾分けにあずかり、お湯を注ぎゆず茶にしたのですが、甘さ控えめで柚の香りがしたいへん美味しくいただきました。



短い秋でしたが、沼間中学校の生徒たちは様々な活動に積極的に参加し、ゆっくりですがみなさんの成長を感じることができました。三月には文化祭があり、有志団体の募集がはじまりましたので、ぜひ積極的に参加して欲しいと思います。年度末の文化祭でも、みなさんの成長の証しが見られることを願っています。

（文責 熊谷啓明）